

第2回 有明海再生に向けた 技術提案ワークショップ

開催趣旨

有明海では、海域環境の悪化やその影響と考えられる水産資源の減少が社会問題化してから長い年月が経過しました。地元では、漁場環境の改善や水産資源の回復に大きな期待が寄せられているものの、まだ必ずしも十分な成果は得られていません。その一方で、環境省の有明海・八代海等総合調査評価委員会のとりまとめにあるように多くの科学的知見が得られてきたことや、有明海漁場環境改善連絡協議会における取り組みなど、再生に向けて着実に前進している面も出てきています。

これからは、この取り組みをさらに前進させ、その動きを加速させることや、より大きな効果を出すことが求められ、このためには今まで以上に関係者の協調と活動の総合化が求められます。

そこで、特定非営利活動法人有明海再生機構では平成29年度よりその活動の一環として、有明海再生に繋がる新たな技術シーズの発掘に向けてあらゆる分野から広く技術シーズを募集して、技術提案ワークショップを開催しています。

提案された技術については、再生技術のニーズ、シーズにかかわる関係者間でこの技術情報の共有化を図るとともに、必要に応じ、再生に向けた実践的、効果的な技術へ発展できるよう支援していきたくと考えています。

日時

平成30年

11月17日(土) 13:00~16:20

プログラム

1. 主催者挨拶・開催趣旨説明

特定非営利活動法人有明海再生機構 理事長 川上義幸

2. 基調報告

有明海特産二枚貝の資源回復に向けた取り組み
～アゲマキ・タイラギ～

元佐賀県有明水産振興センター所長 伊藤史郎

3. 平成29年度受賞応募技術発表

①フルボ酸鉄シリカ資材を用いた干潟浄化

福岡大学水循環・生態系再生研究所 教授 渡辺亮一

②底泥間隙水中の硫化物簡易測定による有明海底質環境の評価

特定非営利活動法人日本環境監視協会 理事 山本千裕

③底質中の導電性微生物を活用した電子授受機能の強化による

有明海の貧酸素化抑制手法の開発

山口大学大学院創成科学研究科 教授 今井剛

4. 平成30年度提案技術プレゼンテーション

5. 閉会の挨拶

特定非営利活動法人有明海再生機構 副理事長 大串浩一郎

主催：特定非営利活動法人有明海再生機構

協力：一般社団法人水底質浄化技術協会

後援：農林水産省九州農政局、国土交通省九州地方整備局、九州地方環境事務所、福岡県、佐賀県、熊本県

入場
無料

会場

佐賀市保健福祉会館（愛称：ほほえみ館）

4階 視聴覚室

住所：佐賀市兵庫北三丁目8番36号



【注】

自動車でお越しの場合、敷地内は荷降ろし時以外、駐車できません。

建物前の道路を挟んで南西方角にある駐車場をご利用願います。